

## 平成25年黒石市教育委員会第9回定例会会議録

日時及び場所 平成25年9月25日(水)午後1時30分 黒石市産業会館 大会議室

会議出席委員 委員長 村上良子  
1番 中村康  
2番 千葉小夜子  
3番 津軽承公  
4番 阿保淳士(教育長)

会議欠席委員 なし

### 説明のために出席した者の職氏名

教育部長 奈良岡 和 保  
指導課課長 宮崎 晃 一  
学校教育課長 山谷 博文  
社会教育課長 駒井 昭 雄  
文化課長 成田 秀 範  
学校教育課長補佐 西塚 啓  
学校教育課総務係長 中田 智子(書記)

### 会議に付した案件

- 第1 会議録の承認
- 第2 会期の決定
- 第3 会議録署名委員の指名
- 第4 教育長等の報告
- 第5 議案第52号 黒石市教育委員会の事務の点検及び評価に関する報告書の作成について
- 第6 議案第53号 教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他教育機関の職員に係る懲戒処分等について
- 第7 議案第54号 教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他教育機関の職員に係る懲戒処分等について
- 第8 議案第55号 教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他教育機関の職員に係る懲戒処分等について
- 第9 議案第56号 教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他教育機関の職員に係る懲戒処分等について
- 第10 議案第57号 教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他教育機関の職員に係る懲戒処分等について
- 第11 議案第58号 教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他教育機関の職員に係る懲戒処分等について
- 第12 議案第59号 教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他教育機関の職員に係る懲戒処分等について

## 会 議 の 顛 末

開会宣告（午後1時30分）

### 第1 会議録の承認

平成25年黒石市教育委員会第8回定例会の会議録については、全員異議なく、原文を承認する。

### 第2 会期の決定

会期については、平成25年9月25日の1日とすることで、委員全員異議なく、決定する。

### 第3 会議録署名委員の指名

村上委員長が「津軽承公委員」と「千葉小夜子委員」を指名する。

### 第4 教育長等の報告

#### 1 黒石市が制定した教育関係事業に係る要綱について（学校教育課）

平成25年9月5日、黒石市告示第117号で黒石市教育研究大会開催事業補助金交付要綱が制定されたので、報告する。

#### 黒石市教育研究大会開催事業補助金交付要綱

（趣旨）

第1条 この要綱は、教員、保護者その他学校教育に関係する者（以下「教員等」という。）の資質向上及び学校教育の振興を図るため、黒石市立学校の長を構成員とする実行委員会を組織して実施する教育研究に関する大会の開催に対する補助金の交付に関し、黒石市補助金等の交付に関する規則（昭和60年黒石市規則第7号。以下「規則」という。）に定めるもののほか、必要な事項を定めるものとする。

（交付の対象）

第2条 補助金の対象となる教育研究大会とは、大会名称にかかわらず、営利を目的とせず教員等の教育課題解決に向かう力を養うことを目的として講話、事例発表、パネルディスカッション等を行うものをいう。

2 教育研究大会の開催会場は黒石市内とし、青森県全域以上を範囲として参集を求めるものとする。

3 補助金の対象となる経費は、教育研究大会の実施に要する経費（食糧に係る経費を除く。）からこの補助金以外の補助金の額を除いたものとする。

（補助金の額）

第3条 補助金の額は、10万円を限度として予算の範囲内で定める。

(交付の申請)

第4条 規則第3条に規定する補助金の交付の申請に添える同条第1号及び第2号の書類の様式は、次に掲げるとおりとする。

(1) 事業計画書(様式第1号)

(2) 収支予算書(様式第2号)

(実績報告)

第5条 規則第12条に規定する報告で提出する書類の様式は、次に掲げるとおりとする。

(1) 補助事業実績報告書(様式第3号)

(2) 収支決算書(様式第4号)

附 則

この告示は、公示の日から施行する。

## 2 教育長に委任された事項に係る教育委員会告示について(学校教育課)

平成25年9月12日、黒石市教育委員会告示第9号で平成26年度黒石市立黒石幼稚園園児募集要項を公示したので、報告する。

### 平成26年度黒石市立黒石幼稚園園児募集要項

#### 1 園児募集について

申し込み資格

3歳児 平成22年4月2日～平成23年4月1日生まれの子

4歳児 平成21年4月2日～平成22年4月1日生まれの子

5歳児 平成20年4月2日～平成21年4月1日生まれの子

願書受付期間

平成25年11月1日～平成25年11月30日(ただし土、日、祝日は除く)

午前9時～午後4時

※ 入園希望者には、10月17日(木)から当園で願書をお渡ししていますので、記入の上、提出してくださるようお願いいたします。

※ 申し込みが募集人員に達しない場合は、受付期間終了後も引き続き受付します。

募集人員

3歳児 19名

4歳児 25名

5歳児 25名

※ なお、11月末日時点で応募者が募集人員を超えた場合は、市内在住者を優先し抽選を行い選抜します。

#### 2 その他

保育時間 月曜日～金曜日 午前9時～午後2時

入園料・保育料

入園料 3,000円

保育料 月額8,900円(市外に住所を有する幼児 9,900円)

※ その他、月額3,000円程度(学級費、PTA会費、誕生会費、牛乳代、絵本代等)

休業日

土曜日、日曜日及び祝日

開園記念日 10月5日

春季休業日 3月26日から4月6日まで

夏季休業日 7月22日から8月23日まで

冬期休業日 12月24日から1月14日まで

服装 当園で決めている園児服を着用

お問合せ先 黒石市立黒石幼稚園 〒036-0339 黒石市美原町99番地2

電話 0172-52-2022

### 3 平成25年度黒石市成人式について(社会教育課)

黒石市長と共催で行う平成25年度黒石市成人式の開催要項を別紙のとおり報告する。

#### 平成25年度黒石市成人式開催要項

##### 1 趣 旨

成人を迎える若人を祝福、激励し、我が国を担う国民としての自覚を促すとともに、有権者としての意識の高揚を図る機会とする。

##### 2 主 催 黒石市・黒石市教育委員会

##### 3 日 時 平成26年1月12日(日)午後1時40分から

##### 4 場 所 津軽伝承工芸館 多目的ホール

##### 5 内 容

(1) オープニング(津軽三味線奏者 渋谷幸平) 午後1時40分

(2) 式 典 午後2時

(3) 記念写真撮影(写真有料) 午後2時45分

##### 6 対象者

平成5年4月2日から平成6年4月1日までに生まれた黒石市在住の市民。ただし、市外在住者でも希望者は参加できるものとする。

##### 7 対象人数 327人(平成25年7月1日現在)

##### 8 案内方法

住民基本台帳記載者及び希望者に、案内状を送付するとともに、広報「くろいし」等に掲載する。

##### 9 問い合わせ 社会教育課青少年係 TEL52-2111 内線611番

### 4 平成25年黒石市議会第3回定例会での一般質問について

(1) 自民・公明クラブ 大久保朝泰議員「幻の剣道ハイキング事業等への行政支援について」(社会教育課)

#### 幻の県道探索ハイキング事業に対する行政支援について

幻の県道探索ハイキング事業への行政支援については、六郷地区振興協議会に各種助成事業の活用等で支援していく。

#### 各地区協議会の代表的な事業内容とその運営状況について

各地区協議会の代表的な活動として、六郷地区振興協議会では、豊かな自然を舞台に健康づくりを図る「幻の県道探索ハイキング」、浅瀬石地区振興協議会では、秋の豊作を祈願する「浅瀬石地区収穫感謝祭」、追子野木地区連絡協議会では、楽しく歩いて健康づくりをする「追子野木地区歩こう会」、牡丹平地区社会教育振興協議会では、農作物の盗難被害を防止する「りんご園地防犯パトロール」、中部地区振興協議会では、スポーツを通して体力づくりを図る「体育祭」など各地区協議会では個性ある地域づくりのため、さまざまな活動を展開している。

事業の運営状況については、各地区協議会の予算でまかない、収支計画を立てながら適正に執行されている。

#### 各事業・団体に対する助成金を含めた行政支援について

各事業・団体に対する助成金にかかる行政支援については、現段階では明言できないが、今後の検討課題とする。

再質問 **入山者の安全面を考慮し、コースの目印である破壊されている標柱の取付等を行政として支援できないか。**

幻の県道ハイキングコースは、その名のとおり県道であるほか、黒森山ふるさと自然の道ハイキングコースと重なる部分もある。

教育委員会としては入山者の安全面を考慮していくほか、標柱の見直しや新たな設置等、ハイキングコースを残していくためにも県や関係各課、六郷地区振興協議会と連携を図り、支援を検討していく。

## (2) 自民・公明クラブ 大溝雅昭議員「スポーツの振興について」（社会教育課）

### ア スポーツによるまちづくり

**市のスポーツの歴史、活躍する市出身のトップ選手の情報発信をまちづくりに活かさないか。**

スポーツによるまちづくりは、市のスポーツの歴史や現在活躍する本市出身のトップ選手の情報収集に努めるとともに、その成績などを紹介するほか、身近に応援できる環境として選手の応援ページや、市内クラブチームの紹介などを市のホームページに掲載するなど、市民に対するスポーツの啓発活動に取り組んでいく。

さらに、スポーツは、子ども達に大きな夢や希望を与えることはもちろん、将来における市のスポーツ活性化を見据えるとともに、オリンピックへ出場できるような選手育成など、市民のスポーツ人口の拡大を目指すため、様々な角度からスポーツの振興を図り、まちづくりの活性化に取り組んでいきたい。

### イ 競技スポーツ、レクリエーションスポーツへの取り組み

**競技スポーツの競技力の向上については**

競技スポーツの競技力向上は、スポーツ環境の整備を図るほか、黒石市体育協会が主体となり、各種競技団体及びNPO法人くろいしアスリートアンドエンジョイクラブの協力のもと、選手の競技力向上を図るとともに、選手育成及び発掘等事業を展開するよう競技団体に働きか

けるとともに、本市としても積極的にバックアップしていく。

**レクリエーションスポーツの取り組みは**

レクリエーションスポーツについては、市民一人ひとりが生活の中にスポーツを取り入れ、生涯にわたりスポーツに親しむことができる地域社会の実現を重点施策として掲げている。昨年度から実施している市レクリエーションスポーツ祭では軽スポーツの楽しさを紹介できたほか、市スポーツ推進委員を活用して老人クラブ、PTA親子会などでレクリエーションスポーツ教室を実施しており、今後は公民館事業においても軽スポーツ講習会を実施するなどして、全市的な活動として市民の健康増進にも取り組んでいく。

**市スポーツ振興基本計画の策定予定はあるのか。**

市スポーツ振興基本計画は、スポーツのまちづくりを進めるためには必要と思われるので、他市の策定状況等を踏まえながら、今後策定について検討していきたい。

**再質問 以前行っていた市民体育大会のような大会を開催する考えはあるか。**

今後、市民体育大会のような大会の開催については、黒石市体育協会、各競技団体及び各地区協議会などと慎重に検討していくが、これまでの経緯をふまえると、現実的には困難なことだと思われる。

(3) 自民・公明クラブ 大溝雅昭議員「黒石ねふた祭りについて」（文化課）

ア 国の無形民俗文化財に向けての取り組み

**国の無形民俗文化財の指定に向けてバックアップをどのように考えているのか。**

「黒石ねふた」は、扇ねふたと人形ねふたが混在するのが特徴で、平成2年3月、市の民俗文化財に指定された後、平成5年4月には、県の無形民俗文化財に指定され、現在に至っている。

保護団体である黒石青年会議所は、今年の「黒石ねふた祭り」出陣式の挨拶で、国の重要無形民俗文化財の指定を目指すとし、既に、取り組みを始めているとも伺っている。

市としても、国の重要無形民俗文化財への指定に向け、基準等を確認するなど、支援や助言を行っていきたい。

(4) 自民・公明クラブ 中田博文議員「金平成園の今後の活用と維持について」（文化課）

**一般公開に向けたスケジュールについて**

「金平成園」通称、澤成園の復原事業は、計画通り作業が進められているが、今後のスケジュールとして、今年度便益施設いわゆる管理棟の建設に着手し、完成は平成26年12月と伺っている。この便益施設は、入場券の発券所や売店、トイレなど来場者のためのエリアに加え、所有者の居住スペースも設けられている。

施設の運営方法などについては、既に所有者と話し合いを重ねているが、入場料金の設定など具体的な内容を、平成26年度末までに決定することになっている。

一般公開の日程については、平成27年度中ということで進められているが、具体的な時期は、現在所有者と調整中である。

**一般公開後の活用と維持について**

「金平成園」は、「旧松の湯」の整備が進む中町伝統的建造物群と連携し、観光の目玉として大いに期待されている。旧加藤家住宅についても、野沢如洋（のざわ じょよう）や蓑虫山人（みのむし さんじん）などが描いた、大変貴重な襖などもあることから、「大石武学流」の庭

園と併せて公開を検討していく。

維持・管理については、施設の運営は所有者が直接行うが、スタッフの短期雇用やボランティアの登用なども想定していると伺っている。また、雪囲いや庭園の剪定等のほか、豪雪などによる被害に対しては、国等の補助金を活用するなど、市としても支援していきたいと考えている。

(5) 自民・公明クラブ 中田博文議員「短命市から長寿市への施策について」(社会教育課)

ア レクリエーションの普及について

レクリエーションスポーツの普及・拡大と市民の生きがいを見出すための事業について

教育委員会では、今年度の施策の4つの柱のひとつとして、スポーツに親しみ、心身ともに健康で活力ある市民の育成を図るスポーツ活動の推進を掲げており、レクリエーションスポーツの普及に積極的に取り組んでいる。

特に、高齢者の会員も多いグラウンドゴルフ、ペタンク協会などは、他市町村の協会と交歓大会を積極的に行うなど、仲間と交流の機会を持つことで、スポーツを通じたサークル活動のつながりができ、会員同士が楽しく身体を動かすことによって生きがいのある生活を送っている。

今後は、各レクリエーションスポーツ協会、黒石市体育協会、更には健康推進担当課とのより一層の連携を図り、全市的な活動としてレクリエーションスポーツの普及・拡大と健康意識の増進を図っていく。

再質問 昨年度のスポーツレクリエーション祭は人が集まらなかったが、もっと市民を巻き込むべき。今年度はどのように取り組むのか。

昨年度の反省から、周知の方法を見直し、周辺市町村のスポーツ推進委員に協力を仰ぎ関係団体に周知していきたい。

再質問 金平成園の開催日について

金平成園の公開の開催日については、通年にするのか、イベントに合わせるのか、所有者と協議しながら検討していく。

以上、委員全員了承する。

日程第6から日程第12は、人事案件の為、秘密会にしたい旨委員長から発議があり、委員全員異議なく、これを可決する。

第5 議案第52号 黒石市教育委員会の事務の点検及び評価に関する報告書の作成について

教育部長が、資料に基づき説明し、審議に入る。

千葉委員 全体的なことを考えれば、外部評価の言葉を真摯に受け止めて、当事者として、改善できるとなるようなところはやっていかなければいけないと改めて考える次第です。やはり、大きな問題としては学校の適正配置。これはやはり、時期を失してはいけません。「万全な足固めを。」というような言葉をいただいているということは、私たち一人一人が、気持ちをもって進めていかなければいけない。それから、委託問題については、やはり、

管理状況が公民館であれ、学校の安全であれ、いろいろあるかと思いますが、縦の連携、横の連携をしっかりとって、学校の安全、あるいは地域の安全に向かっていかなければいけないという気持ちを新たにしたようなものです。それから、支援員の配置のところの外部評価で、何回読んでも知、徳、体と心の関連が解らないとありますが、そのようなところは、説明がきちんと出来る状況でなければいけないと、改めて考えさせられました。やはり、私たちが薦めていかなければいけないものは何なのか、再度足固めをしていかなければいけないのではないかと。もうひとつは、継続というものは今までやってきたものをある程度認めているが、強化となれば、それは生温い、もっとやりなさいという方向性だと思うので、その評価にも目を向けた方がいいのではないかと思います。

以上、全員異議なく、原案を可決する。

日程第6から日程第12は、人事案件の為、秘密会にしたい旨委員長から発議があり、委員全員異議なく、これを可決する。

休憩宣告（午後2時33分）



黒石市教育委員会会議規則（平成25年黒石市教育委員会規則第1号。以下「規則」という。）第20条及び第21条の規定に基づき作成した平成25年黒石市教育委員会第8回定例会の会議録（秘密会を除く。）について、規則第22条の規定による承認を受けたので、規則第23条の規定に基づき、ここに署名する。

平成25年10月28日

黒石市教育委員 津 軽 承 公

黒石市教育委員 千 葉 小 夜 子